

暮らしの情報ページは主に公共機関などからのお知らせを掲載します。問い合わせや申し込みなどは➡の記号で表示します。市役所の代表電話番号は☎042-953-1111です。

# 暮らしの情報ページ



## 学習会の参加者募集

すでにファミリーサポートセンターを設置し活動をはじめていたかたがたを講師にお招きし、学習会を開催します。育児や地域づくりに興味のあるかたの参加をお待ちしています。

### 学習会日程

とき	内容
7月1日(水)	ファミリーサポートセンターとはこんな機関です
7月8日(水)	松戸市ファミリーサポートセンターの活動実践から学びます
7月15日(水)	さまざまな立場からの報告を受けて参加者との意見交換をします

※時間はいずれも13時30分～15時30分

定員50名程度 申し込み6月26日(金)までに電話で福祉健康部内福祉公社設立準備担当へ内線781・782

近年の女性の職場進出はめざましいものがありますが、女性が仕事を続けるうえで、子育てがネックとなる



縁、地縁での対応が難しくなりまして、このようなことから、働く女性の仕事と家庭の両立、特に育児との両

立を手助けするために、会員の互助による子育て支援の機能を持つ「ファミリーサポートセンター」の設置が全国各地に広がっています。これは、保育所のお迎えに残業のために行けなくなった場合や、普段面倒を見てもらっているかた、子育てしているかたの病気などにより育児ができなくなった場合、地域の相互援助活動によって助け合っているというものです。ファミリーサポートセンターに、援助の提供会員や利用会員として登録していただき、センターでは利用会員の依頼にあった援助をできる提供会員を紹介していくものです。

### 子育てに関するアンケート調査の結果を紹介

●上の子供を保育園に通わせているとき、仕事の都合で迎えの時間に間に合わないときに、同じクラスのお母さんにのみ、お互い助け合ったことがあります。核家族の多い現状では、遠くの親戚より近くの〇〇ということもあります。ファミリーサポートセンターのようなシステムができることは大いに喜ばしいと思います。

●自分の出産時を思い出し、このような支援サービスができることは良いことだと思います。子供のことでなく、老人・病人などの支援の輪を広げてほしい。

●仕事だけに限らず、主婦が何かを学びたいとき(介護など)幅広い場面で対応できるセンターにして欲しい。密室育児になりがちという点では、専業主婦のかたが問題に直面することもあると思う。子育て支援という幅広い視点に立つてのセンターであって欲しい。

# ファミリーサポートセンターをご存じですか

自然エネルギーを生かし、多くの機能を整備

## 新入間川小学校の建設設計の概要



●概要  
 校舎棟 鉄筋コンクリート造3階建、延べ床面積 約8,000㎡  
 体育棟 鉄筋コンクリート造2階建、延べ床面積 約1,400㎡  
 プール 鉄骨造2階建、延べ床面積 約1,100㎡

### 特色1 さまざまな学習展開が可能な校舎棟

校舎棟は、子どもたちが意欲的・自主的に学習するために、これまでの固定的な一斉授業のほかにグループ学習や個別学習など多様な学習形態がとれるよう普通教室24教室のすべてとそれに続くワークスペースで構成されています。また、各学年が交流できる広さを持った多目的ホールやエントランスホールを設け、児童の自主的な学習活動やティームティーチングといったさまざまな学習の展開が可能となり、エントランスホールについては、図書コーナーを設けるなど自由な雰囲気でも完備したオー

### 特色2 自然エネルギーを活用したさまざまな設備

屋外設備は、体育棟の屋根に設置する太陽光発電装置をはじめとして、校舎棟の屋根には、風力発電装置を設置するほか、太陽の放射熱を利用するプール上屋の設置や校舎などの屋根に降った雨水の散水利用など

平成12年4月開校予定の新入間川小学校は、「個性を育む開かれた学校づくり」をテーマに太陽や風そして水など自然エネルギーの活用を考慮した学校施設を予定しています。学校の周辺は低層の住宅地が多いことも考慮し、校舎棟の低層化に努めるとともに明るく快適な教室や変化に富んだ、楽しさあふれる雰囲気作りを心掛け、屋外運動施設については、隣接する入間川の堤防敷地との一体化を図りながら広々としたグラウンドとなるよう計画しています。今回は、その主な特色や建物概要をお知らせします。



自然エネルギーを活用し、環境を学習するための身近な教材として大いに期待されます。なお、この取り組みは、文部省と通産省が連携した環境に配慮した学校「エコスクール」整備事業に埼玉県下として初めて参画することになりました。また、地域開放に向けた取り組みとして、コミュニティルームや特別教室、体育館として、プールなどを利用しやすい位置に計画する一方、校舎棟にエレベーターを設置するほか各施設へのスロープや障害者用のトイレなどの設置にも十分配慮しています。このほかにも、留守家庭の児童を支援する児童保育室を併設する予定です。



市では、新しい入間川小学校の平成12年4月開校に向け、施設づくりを円滑に進める一方、市道の整備をはじめ、国道16号の安全横断などのため、主な通学経路を想定し、具体的な安全対策に取り組んでいます。なお、平成9年度に実施した盛土造成工事に続き、今年度は、校舎棟、体育棟の建設工事に、10月以降順次着手する予定です。新しい入間川小学校が「子どもたちの夢と希望に満ちた学校施設」、「全国に誇れる先進的なモデル校」となるよう、実現に向けた取り組みを一層進めていきます。

●問い合わせ 教育委員会総務課へ内線561